

河川工作物アドバイザー会議の経過報告・今後の予定

1 河川工作物の改良状況

河川工作物WGにおいて改良が必要と判断された5河川13基について、平成24年12月までに全ての改良が終了。

2 河川工作物改良の総括的とりまとめ

昨年度、河川工作物アドバイザー会議委員からなるワーキングチームが、これまでの河川工作物改良について総括的な取りまとめを実施。(別添参考資料)

3 今年度のモニタリング調査実施予定

昨年度見直した改良後のモニタリング計画及び長期モニタリング計画に基づき、以下の調査を実施予定。

- (1) イワウベツ川(赤イ川、ピリカベツ川)、ルシャ川、テッパンベツ川、羅臼川、サシルイ川、チエンベツ川、ルサ川においてサケ科魚類の遡上状況等調査を予定。
- (2) 8河川においてオショロコマ等の生息状況調査を予定。また、6月末に36河川にデータロガーを設置し、水温の計測を開始。

4 今後の予定

(1) 会議の開催

第1回：現地検討会：9月

第2回：2014年1月頃

- (2) 改良が必要とされた工事の終了と総括的な取り纏めを踏まえ、グレー(改良に伴う防災機能等への全体的な影響が大きいことから現状維持)と評価されている河川工作物の今後の扱いの検討を開始。

5 その他

6月上旬にIUCN-SSG(サケ科魚類専門家グループ)座長のピート氏(Peter S.Rand,Ph.D.)のルシャ川視察に同行。